

いしのまき 普及センター通信



▲最新の環境制御技術と高設養液栽培システムによるいちご栽培施設

石巻地域の施設園芸を牽引する いちご

県では令和3年4月に「みやぎ園芸特産振興戦略プラン」を策定し、園芸振興を推進しています。特に「いちご」は、将来的に産出額100億円を目指す重要な品目に位置付けられています。

石巻地域のいちご栽培は昭和40年代に始まり、巨里地域に次いで県内第2位の産地を形成しています。平成23年の東日本大震災以降、農業法人がいちごの大規模経営や複合経営の一部門として取り組み、産地の中核となっています。さらに、新しくいちご栽培に取り組む動きも見られます。

先進的な施設の建設や先端技術の導入も進んでおり、地域の施設園芸を牽引する品目として生産拡大が期待されます。

特集 石巻地域の施設園芸を牽引する いちご

産地の発展に向けて

管内には、旧石巻、河南、矢本地区にJAいしのまきのいちご出荷組合があり、栽培技術の研さんに取り組んでいます。長い経験に裏付けられた組合ですが、新しい技術への取り組みも進んでいます。特に、ハウス内の温度、湿度、二酸化炭素濃度などを適切に管理する環境制御技術は収量向上への効果が高いことから、普及拡大を推進しています。

先端技術の導入

いちご栽培に取り組む農業法人では、養液栽培や先述の環境制御技術に加えて、様々な先端技術をいち早く導入し、経営安定を図るとともに、地域への普及にも貢献しています。

高濃度炭酸ガス処理や天敵カブリ

ダニ類を用いたハダニ類防除、紫外線(UV-B)照射によるうどんこ病防除などは高い効果が確認され、普及が徐々に進んでいます。



▲いちご苗の高濃度炭酸ガス処理によるハダニ類防除

新たないちご栽培の動き



石巻市の(株)黄金ファームでは土地利用型作物を中心とした経営を行っており、昨年よりいちご栽培にも取り組んでいます。地域の遊休ハウスを利用して規模拡大を図るなど、いちご部門を取り入れて経営の発展を目指しています。

(株)アソラは令和元年の台風19号で被災し、大崎市より東松島市に移転して今年度から栽培を開始します。産地の新たな動きとして期待されます。

◀(株)黄金ファームのいちご苗定植

いしのまき農業協同組合セリ部会がみやぎ園芸振興大賞を受賞されました!



▲宮城県園芸振興大会表彰式

令和4年8月31日に開催された「令和4年度宮城県園芸振興大会」においていしのまき農業協同組合セリ部会がみやぎ園芸振興大賞(宮城県知事賞)及び全農宮城県本部長賞を受賞されました。

河北せりは石巻市河北地区の伝統野菜として江戸時代から栽培が始まり、共販組織としては昭和48年から活動を開始しています。また、市場からは丁寧な調製作業による高い品質が評価を受けています。

「河北せり」として県内青果物では初となる地理的表示(GI)の登録を受けていますが、部会が登録に当たって、「河北せり振興協議会」の一員として主導的役割を果たしたこと、様々なメディアやイベントでのPR活動等が評価されました。

10月から宮城県内の量販店に「河北せり」が並んでいますので、是非お手にとって高い品質を確かめていただければと思います。

秋の農作業安全確認運動「しめよう!シートベルト」

みやぎアグリテックアドバイザー派遣事業を活用しました



▲農業用ドローン

県ではアグリテックの導入や効果的な活用を支援するために「みやぎアグリテックアドバイザー派遣事業」を実施しています。当管内では令和4年9月20日に(株)田伝むしがドローンの機種選定を進めるために本事業を活用しました。

アドバイザーからはドローンの2機種や作業時間、バッテリーの充電・交換、散布量、RTKを利用した自動航行などについて紹介されました。当日は天候不良により実演はなかったものの、実際のドローンを屋外で確認するなど今後の参考となる研修会となりました。

本事業に興味のある方はお気軽に当普及センターまで御連絡ください。

子実用とうもろこしの試験的な栽培を進めています



▲子実用とうもろこし収穫の様子
(10月21日)

子実用とうもろこしは水田の新たな転作作物として今年度から県北地域を中心に作付けが拡大しています。飼料用として活用され、輸入飼料価格の変動に左右されない国産家畜飼料として注目されています。

今年度は石巻地域に合った品種、作期、労働時間や収益性などを明らかにするための試験的な栽培を桃生地区の2法人で進めています。

令和4年5月25日に播種を行った子実用とうもろこしは、10月上旬に刈取適期を迎え、収穫、調製後飼料会社に出荷されます。

当普及センターでは子実用とうもろこしの、転作作物としての有用性を検討していきます。

みやぎ農業未来塾「石巻地域の農業紹介講座」を開催しました



▲(有)サントマト石巻の視察

令和4年6月13日及び9月7日に、石巻北高校食農系列の生徒を対象に、令和4年度みやぎ農業未来塾「在学者コース～石巻地域の農業紹介講座」を開催しました。

本講座は、高校在学中の生徒に対して、石巻地域農業の優良事例を紹介し、進路選択の参考と学習意欲の向上を図る目的で、昨年度から実施しております。

今年度、3年生13人が(株)宮城リスタ大川を、2年生35人が(有)サントマト石巻をそれぞれ視察しました。参加した生徒らは、広大な土地利用型農業の現場や、大型園芸施設での栽培の様子を目にし、農業の現場に刺激を受けた様子でした。

石巻地域さつまいも拡大推進セミナーを開催しました



▲さつまいもほ場(石巻市河南)の見学

みやぎ園芸特産振興戦略プラン(令和3～7年度)において、石巻地域の重点振興品目としてさつまいもが新たに位置付けられました。水田等における収益性の高い園芸作物として、さつまいもの生産及び販路拡大を図るため、令和4年8月24日(水)に当セミナーを開催しました。

(農)エコルフームのほ場見学では、水田135aで「べにはるか」が作付けられ、マルチ、定植、除草、つる上げ及び防除などの適切な管理により、10月の収穫に向けて順調に生育していました。

(株)やまもとファームみらい野(山元町)取締役の講演では、宮城県で栽培されたさつまいもは糖度が高く消費者から好評を得ており、今後の生産拡大が期待されます。

農薬は、ラベルを確認して、正しく使用しましょう

石巻農業士会通常総会・歓送迎会を開催しました



▲ 石巻農業士会総会・歓送迎会

令和4年6月10日に石巻市内で、令和4年度石巻農業士会通常総会・歓送迎会が開催されました。

齋藤会長から世界情勢の変化やコロナ禍に負けず農業振興や後継者育成に活動しようとの挨拶の後、議事では令和3年度事業報告並びに収支決算や令和4年度事業計画並びに収支予算等が承認されました。

歓送迎会では、青年農業士を退任する阿部氏へ知事感謝状の授与や花束の贈呈などを行い、会員ごとに近況等をスピーチして、有意義な情報交換と懇親を深めました。

お知らせ

農業簿記記帳会、毎月開催中！

普及センターでは、令和3年度から農業簿記を習得したいという農業者を対象に、月1回、第1火曜日午後、普及センターのオープンラボを開放し、簿記記帳会を開催しています。農業者自身がそれぞれパソコンや伝票を持参し、自分のペースで記帳しています。現在、新規就農者や女性農業者の皆さんが参加しています。

普及指導員が、簿記入力の悩みに個別に対応していますので、是非御参加ください。



▲ 簿記記帳会（毎月第1火曜日、午後開催中）

石巻地域生活研究グループの販売会再開！



▲ 石巻合庁での販売会

石巻地域生活研究グループ連絡協議会会員が、石巻合同庁舎で毎月開催されているみやぎ水産の日（毎月第3水曜日）販売会に、9月から参加しています。

商品は旬の野菜や新米、梅干しやお弁当、スイーツ等の加工品、漁家メンバーの海産物などバラエティ豊かです。普段は、直売所等で販売していますが、久しぶりの仲間との販売会で、笑顔でお客さんを呼び込んでいます。

今後は、11月16日（水）、12月21日（水）の水産の日販売会のほか、11月30日（水）の石巻合同庁舎ロビーコンサート開催時にも、販売を行う予定です。

石巻地区4Hクラブの新規会員募集！

石巻地区4Hクラブ連絡協議会は、石巻市と東松島市の農村青少年が次代の農業を担う知識と技術の習得を図るため、クラブ員15人が情報交換や研修、青空市などの活動を行っています。

5月と6月に石巻合同庁舎ロビーで開催した青空市では、クラブ員が栽培した新鮮でおいしい野菜や花などを直売し、お客様から大変喜ばれています。

7月と10月には、新会員歓迎の若手農業者BBQ交流会を開催し、好評でした。今後、視察研修会も計画しています。

若手農業者の仲間づくりや研修に興味のある方は、普及センターまで連絡をお願いします。



▲ 石巻合庁での青空市